



キャンパスニュース

C A M P U S N E W S

2010

7

VOL.37



特集

文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択
第33回鳥人間コンテスト選手権大会出場決定!
電気電子工学科「電気自動車プロジェクト」

先端機器分析センター着工

6月2日に本学研究実験棟東側敷地にて先端機器分析センターの着工に伴う地鎮祭を行いました。本センターは来年2月末の完成を予定しています。今後本センターを拠点として研究・開発を推進します。

文部科学省「平成22年度私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業」に採択

文部科学省による、平成22年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（研究拠点を形成する研究）に本学が申請した研究プロジェクト「省資源型の地域産業創成を目指した微量元素分析・マッピング技術の開発と応用」が採択されました。

この研究プロジェクトは5年間（平成22～26年度）で、総額約4億円（うち、文部科学省からは約2億円の補助）の事業規模で進めるもので、独自の微量元素分析・画像化（マッピング）技術を確立するための研究開発を目的としています。これらは、地域企業における新たな材料開発・分析技術向上への貢献とともに、半導体材料・小型強力磁石材料・非鉛系セラミックス材料等の機能性材料開発、更には農水産物の安全性評価への応用が期待されています。

また、本採択を受け、キャンパス内には「先端機器分析センター」を新築するとともに、新たに研究設備・装置も購入・整備をして、地域産業界と連携した研究開発に資する研究拠点として整備を進めることとしています。



先端機器分析センター完成予定図

「私立大学戦略的 研究基盤形成支援事業」とは

文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」とは、大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色を活かした研究を実施するため、その研究基盤の形成を支援する事業であり、わが国の科学技術の発展に資するものです。

役職者紹介 平成22年4月1日現在

学長・総合情報学部長	荒木 信幸	情報システム学科長・人間情報デザイン学科長	荻野 徹(教授)
理工学部長	出口 潔(教授)	付属図書館長・科学教育連携センター長	住谷 實(教授)
学生部長	秋山 憲治(教授)	工作センター長	丹羽 昌平(教授)
機械工学科長	益田 正(教授)	機器センター長	吉田 豊(教授)
電気電子工学科長	郡 武治(教授)	情報センター長	鈴木 千里(教授)
物質生命科学科長	惣田 昱夫(教授)	教育開発センター長	菅沼 義昇(教授)
コンピュータシステム学科長	田中源次郎(教授)	事務局長	澤田 厚二

遠州灘

6月初旬、卒業研究生が満面の笑みで駆け寄ってきた。笑顔の理由は、志望企業から内定を得ることができたからだ。学生は興奮しているせいか、手足を小刻みに震わせていた。理由を聞いたときは、学生とともに笑顔で喜びを分かち合った。

2008年にアメリカから始まった世界的な不況の影響、2009年の政権交代、2010年の新内閣スタートなど、世の中が大きく変化している。学生は、この変化に戸惑いを感じながら学生生活を送り、現在、就職活動を行っているわけだが、自分の目標・価値観・立場・スキルを明確にし、自分自身の信念を持ち、就職戦線を乗り越えてほしいと思う。今年の就職戦線は非常に厳しいが、この困難を乗り越えたときの喜びを学生・教職員とともに今後も共有していきたいものである。(Y)

第33回 鳥人間コンテスト選手権大会

第33回鳥人間コンテスト選手権大会2010が2010年7月24日(土)~25日(日)に滋賀県彦根市松原水泳場にて開催されます。書類選考を通過し、大会に向けて機体制作に励む、静岡理科大学鳥人間を目指す飛行機研究会の部長であり、大会ではパイロットを務める高林秀和さんに大会に向けての準備状況を伺いました。

司 会 選考書類を作る時に意識したことは何ですか？

高林さん 事故を起こしてからでは遅いので「安全対策」には特に気を配りました。また、機体の形はあまり独創的とは言えませんが、安定した飛行をする設計とすることで、長期的な計画を立て、徐々に力をつけて記録に挑戦するという想いはアピールできたと思っています。

司 会 出場する機体の注目ポイントは？

高林さん 機体の骨組み部分をカーボンへ変更したことが一番のアピールポイントではないかと思います。しかし、今回初めてカーボンを用いたということもあり、技術的に分からないことが多く作業が行き詰ることもありました。そんな時は、皆でアイデアを出し合い協力することで乗り越えてきました。また、カーボン桁の製作を全て私たちだけの力で行ったということは大きな自信となりました。

司 会 大会が近付いてきましたが、今どんな気持ちですか？

高林さん 機体の完成まであと少しなので、グラウンドや中田島砂丘で行うテストフライトで最終調整をしっかりと行いたいと思います。また、部員の気持ちを一つに頑張っていきたいと思っています。

司 会 大会ではどんなフライトをしたいですか？

高林さん パイロットとしての責任をしっかりと果たし、今大会の目標である200mを飛べるよう悔いの残らないフライトにしたいです。また、結果としてそれが来年に向けての原動力になればと思っています。

司 会 将来の夢は何ですか？

高林さん ものづくりが好きでこの大学に入学したので、ものづくりに携わる仕事に関われればと思っています。また、クラブだけでなく、航空工学コースで飛行機の技術についても学んでもいるので、航空関係の職に就けたら嬉しいです。

司 会 在学生の皆さんに伝えたいことはありますか？

高林さん ものづくりが好きな方は、鳥人間、フォーミュラ、MCFといったサークルに参加してみてもいいでしょうか。「飛行機や自動車の事はわからない」という人でも、日々の活動の中で知識や技術が身に付いてくると思います。少しでも興味のある方はぜひ一度作業場を訪れてみてください。



学科紹介

総合情報学部

コンピュータシステム学科



今の社会では、パソコン、携帯電話、自動販売機、自動車など、あらゆる所にコンピュータがあり、全てプログラムという指令書に基づいて動いています。コンピュータシステム学科では、このプログラムの動作原理と書き方を徹底して教育し、上級のプログラマーを育成しています。

本学科では理論だけでなく、実践的な科目もたくさんあります。少人数クラスでプログラムや情報数理の基礎を身につけた後は、組み込みコンピュータを半年かけて学ぶ「組み込みソフトウェア集中実験」、さまざまなソフトウェア技術・情報数理に触れることのできる「システム科学実験」、Webサイトを一年かけて作成する「Webデザイン特別プログラム」（人間情報デザイン学科共通）が用意されています。卒業研究では3次元コンピュータグラフィックスを応用した仮想現実空間や高度なゲーム制作が人気を集めています。

コンピュータを扱うための知識は、システムエンジニアになるためだけでなく、どんな企業でも必要とされるものになっています。コンピュータシステム学科では、知識の証明となる基本情報技術者・ITパスポート・3次元CAD・CG検定のような資格取得を手助けするだけでなく、教育現場でこの知識を日本の未来を託す若者に伝えるための高校教員一種免許「情報」「数学」が取得できます。

コンピュータの基礎から応用まで、幅広い専門知識を持った教員陣が、コンピュータのエキスパート、上級プログラマーを目指す若者を支援しています。



組み込みソフトウェア実験



3次元CGのモデリング

Flashを用いたアニメーションの制作

コンピュータシステム学科 玉真研究室

おじゃまします。

3Dデジタルデザイン研究室

3Dゲーム作りを課題としたプログラミング教育を行っています。ゲーム作りは、出来栄を自分で評価でき、アイデアが次々に湧いてもっと作りたくなる、高度な機能を入れたい、といった自己拡張性があり、完成したときの達成感も大きいので、「知的もの造り」教育の題材として非常に優れています。プログラマーやSEを目指す学生には数千行以上の大規模プログラム開発体験が必要ですが、それも達成できます。最近では、単なる「遊戯」の域を越え、ゲームの社会的・実用的応用を目指して、「シリアスゲーム」にも取り組んでいます。1例を上げますと、我々が以前開発して、オリンピックレベルを含む、多くのスピードスケート選手の体力測定に使われている体力測定器に自転車競争ゲームをドッキングした、新たな「トレーニングマシン」を開発しています。



研究室訪問

第26回



研究室学生からひとこと

施 楽 (理工学研究科 システム工学専攻1年)

大学の時、日本語を勉強していたと同時に、プログラミングにも興味を持っていました。玉真研究室のホームページを見て、自分もそんなゲームを作りたいと思い、入学しました。現在、主にDirectXを使ったプログラミングを学んでいます。ゲームの作り方と言語を身につけたら、パソコンで自分の好きな世界が作れます。これから、CGのテクニックを使ってネットゲームのような綺麗な画面を作りたいと思っています。難しいかもしれませんが、ゲームプログラマーを目指して頑張っています。

学科紹介

総合情報学部 人間情報デザイン学科



コンピュータ(PC)が、コミュニケーション手段となり、情報を扱う日常的なツールとなった今、私たちに求められているものは、「ヒトの感性と心地よく共鳴するPC/情報処理」、その発想力・デザイン力、そしてそれを具現化する論理力です。人間情報デザイン学科では、情報技術(IT)をベースに、画像処理、CG、3次元CAD、心理、生命科学、経営、社会、言語などの専門分野について「理系」と「文系」を横断的に学び、情報を活用する総合力を養います。この総合力を基盤に、コンピュータを活用した「情報の収集」・「分析」そして「発信」の能力を鍛えます。企画力・デザイン力・創造力を兼ね備え、多様な情報関連分野で活躍できる人材の育成が目標です。

本学科には、「Webデザイン」、「心理・生命情報」、「社会情報」の3コースがあります。コンピュータをコアとして「生命としての人間」から「社会の中の存在としての人間」まで、理系と文系を融合した情報学を学びます。「Webデザイナー」、「CAD技術者」、「生産管理技術者」、「人間工学を利用した家電・福祉機器開発」、「バイオ」、「ネット・ITビジネス」、「新聞・報道記者」、「マーケティングリサーチャー」、「商品開発」、「業務系システム開発」、「物流」...など、将来の各職業領域において、情報科学を駆使して存分に活躍できるよう、各コースでは関連専門分野について総合的に学ぶことができます。また、Webサイトを一年かけて作成する「Webデザイン特別プログラム」(コンピュータシステム学科共通)、「人間情報デザイン実験」、卒業研究などの実践科目により実力を養成します。高校1種免許(情報)をはじめ、各種資格の取得についての支援も行っています。

高校時の文系・理系に関わらず、本学卒業後に情報化社会で縦横無尽に活躍する人物となるよう、充実した研究設備を活用しながら、「文」・「理」の幅広い領域に渡る各分野の専門家教員が日々強力にサポートをしています。



Webデザイン特別プログラム
脳・マシン・インターフェイスの実験



ロボットによる
歌舞伎の制作



新聞データベース作成と分析

人間情報デザイン学科 奥村研究室

おじゃまします。

研究室訪問

第27回

神経行動学研究室

神経行動学というのは、動物が行動するときの脳の働きを調べる学問です。脳の知識が増えることで、ヒトの理解もどんどん進んでいます。また興味のある学生は、人体の仕組みや、生体医工学的な勉強をすることもできます。これからは脳や人体の仕組みを反映させたデザインがますます大切な時代になります。昨年

度の卒業研究では顔の筋肉や目を動かす時に生じるとても小さい生体電気信号を活用して、手足を使わずに機械のスイッチを操作する研究を行いました。また脳波計やNIRSという新しい装置を使って脳の活動を詳しく解析する研究にも挑戦します。どんな研究もチャレンジです。卒業研究の内容は学外の研究会でも高く評価され、昨年は2人の学生がポスター賞をとりました。



ポスター賞を受賞し、受賞講演をする遠藤さん

研究室学生からひとこと

遠藤 高史(平成21年度卒業生)

卒研では、小鳥が歌を囀ることを学習する時の脳のしくみを調べました。卒業の前に、頑張って出した結果を研究会で発表するチャンスをいただき、ポスター賞を受賞することができました。この経験はきっと今後の自信にも繋がると思います。現在は、在学中に得た脳科学の知識を活かして、ヒトと本当の対話ができるロボットをつくる研究をしています。まだまだ修行中ですが、日々「生物に学んだ脳科学」の勉強の延長線上で「コンピュータ」の知能の勉強を行っています。SISTでの4年間は、確実に今の僕を動かしていると思います。

現：豊橋技科大・院・知能情報学科

SIST企業セミナー

1月18日（月）、19日（火）の2日間、本学のアリーナでSIST企業セミナーを開催しました。景気の見通しが依然として厳しい中、企業の潜在的な採用意欲は強く、2日間で139社の参加をいただきました。延べ約450名の学生が人事担当者との面談に臨みました。学生は熱心に各企業ブースを訪問し、多くの人事担当者からお褒めの言葉をいただきました。



記念植樹

3月12日（金）に、卒業生代表が大学近くの愛野公園の道を挟んだ東側へ「ヤマモモ」を記念植樹しました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として卒業生から募った募金で一期生から毎年行われ、今回で16本目の植樹になりました。



公開シンポジウム

1月30日（土）に、「こどものからだに危ないぞ！」をテーマに平成21年度公開シンポジウムを開催しました。

当日は、順天堂大学 スポーツ健康科学部 の内藤久土教授による基調講演の後、「体力低下する子どもたちのすこやかな体づくり」をテーマにパネルディスカッションを行い、参加者も交えて活発な質疑が行われました。



卒業式

3月20日（土）に、平成21年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、理工学部生283名、並びに大学院生6名が卒業しました。

卒業生を代表して、電気電子情報工学科の平岩伯都さんが「大学で得た知識と経験という大きな財産を胸に、何事もないがしろにせず正面から向き合い夢の実現に向かって邁進していきたい」と力強く誓いました。



入学式

4月6日（火）に、平成22年度入学式を挙行し、学部生・大学院生合わせて404名が入学しました。

新入生を代表して、電気電子工学科の西澤和記さんが「大学の伝統を受け継ぎ、21世紀にはばたく科学技術者を目指し努力します」と宣誓しました。



チャレンジハイク

5月15日（土）毎年恒例のチャレンジハイク（クラブ連合委員会主催）が開催されました。今年は晴天に恵まれた中、大学 法多山 愛野公園 可睡齋 大学の約20kmに学生94名がチャレンジし、全員完歩しました。また、チャレンジハイク終了後、参加者全員で大学周辺地域のクリーンアップ作戦を行いました。



新入生合宿研修

4月8日（木）・9日（金）の1泊2日、松風閣（静岡県焼津市）で新入生・編入生及び教職員合わせて437名が参加し、新入生合宿研修を行いました。1日目は学科別全体研修と助言教員との懇親を行い、2日目は企業見学等を行いました。



公開講座

5月22日（土）6月19日（土）に、本学にて「前期公開講座」を開催しました。1回目は、「環境に寄与する新エネルギー技術」をテーマに本学の安昭八教授と東京工業大学 統合研究院の柏木孝夫教授が、2回目は、「進化するWebデザイン」をテーマに本学の幸谷智紀講師とウェブパレット 代表の平松和可子氏が講演を行いました。



学生相談室 だより

あなたもメタボかも...? 本学学生 5 人に 1 人が肥満です!

本学の学生定期健康診断では、学校安全保健法に基づいた検査項目を行っていますが、その中には残念ながら腹部CT撮影や腹囲測定は含まれていません。また、血液検査も行っていないので、メタボリックシンドロームの診断基準を満たす学生がどれくらいいるか正確には分かりません。

しかし、メタボリックシンドロームは本学学生の中にも確実に広がってきており、昨年の健康診断結果によるとBMI 25の基準を満たす肥満の学生は、学生の19.1%（5人に1人）に上り、年々増加傾向がみられます。また、BMI > 30.0の重症肥満者は、学生の6.0%の結果でした。今後も肥満の増加に伴い、ますます増加すると考えられます。自身の体型を気にしてみてください。

標準体重（右図参照）などを参考にすると分かりやすいです。

大学生になって全く肥満と縁のなかった人が突然太り出すということがあります。これは夜型の生活になってしまった場合がよく当てはまります。夜は、副交感神経の働きによって、体内の消化吸収能力が昼間より増加します。栄養素の吸収率が高くなります。夜中にポテトチップスなどお菓子を毎日食べている場合、当然脂肪が蓄えられてしまいます。大学生になって太った人は、思いあたりませんか？

自分の生活習慣を振り返って、特に食事・運動の生活習慣の改善を心がけましょう。

メタボリックシンドロームって何？

内臓脂肪の蓄積による肥満を共通の要因として、高脂血、高血糖や高血圧の危険因子を2つ以上持った状態をメタボリックシンドロームといいます。

BMI（ボディ・マス・インデックス）肥満度の評価方法です。BMI指数の標準値は22.0です。

これは統計的にみていちばん病気にかかりにくい体型で、標準から離れるほど有病率は高くなります。

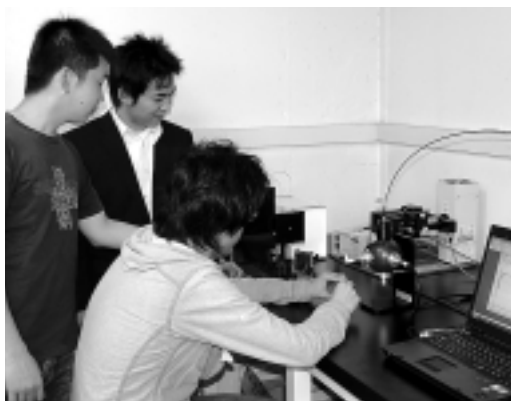
$$\text{BMI} = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)}^2}$$

$$\text{標準体重} = \text{身長 (m)}^2 \times 22$$



判定	やせ	普通	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
BMI	18.5未満	18.5以上 25.0未満	25.0以上 30.0未満	30.0以上 35.0未満	35.0以上 40.0未満	40.0以上

授業科目の紹介



光応用・電子デバイス実験は、電気電子工学科の光応用・電子デバイスコース3年生後期に開講されているコース必修科目です。この科目は、光エレクトロニクスの応用および電子デバイス分野の技術者として必要な計測技術、

電子デバイス試作技術などを修得することを目的としています。具体的には、発光・受光に関する半導体デバイスを使った計測、アナログ/デジタルセンサーを使った計測や応用、太陽電池などのクリーンエネルギー関連デバイスの特性評価、および、クリーンルームを使った電子デバイスの作製とその評価を行います。

この実験では、「半導体デバイス」、「光エレクトロニクス」、「集積回路工学」、「センサ工学」など、それまでの授業で学んだ知識を生かし、実際のデバイスに触れることで、各種デバイスの応用技術を身に付けることができます。

光応用・ 電子デバイス 実験



食堂のリニューアル



平成21年9月に一部改装を行った大学食堂の第2弾リニューアルを行い、平成22年4月5日に「オープニングセレモニー」を開催しました。

今回の工事では、ラウンジコーナーの拡充やオープンカフェを新設し、座席数は従来から100席程度増加しました。ラウンジコーナーの各所にはLANを敷設すると共に、照明にLEDを用いたことで省エネ・CO₂削減による地球環境へ配慮しました。また、食堂全体の壁面の塗り替え、床・椅子の張替え工事を行い、食堂が学生・教職員・地域住民の方が常に憩うことが出来る場となりました。

なお、今回の2度にわたる大学食堂のリニューアル工事は、学生の皆さんへ快適なキャンパスライフを提供するため、平成23年度に実施する「開学20周年記念」の事業の一環として実施しました。



教職支援室の紹介

本学では、平成20年度から教職課程を設置し、教育職員免許状の取得のため現在1年から3年まで各学年約20名が熱心に勉強しています。

本支援室では、高校教員を目指す学生の皆さんの夢の実現に向けて様々なサポートを行っています。

教職課程運営委員長（教育開発センター 特命教授） **沼倉 昇**

この4月より教育棟2階の教育開発センター隣に教職支援室ができ、教員2名が専従で勤務しています。業務は文字どおり教職課程履修の学生諸君が4年後には教育職員免許状を取得し、教員採用選考試験や私学教員適性検査に合格して高校の教壇に立てるよう支援することです。具体的には学生の自主勉強や面接・相談などの部屋としての活用をはじめ、教職関係の図書・月刊雑誌類の購入提供、教職ゼミ（学習指導案の作り方や模擬授業等の指導）や教員採用選考試験対策（過去問や合否データ等の収集提供）の実施、教育実習、高校現場や県教育委員会との関係業務など、多岐にわたっています。



教職支援室を活用しての授業風景

「人は人によって人になる」とも云われるように、教職の重要性は誰しも認めるところです。教員採用選考試験は倍率も高く超難関ですが、ぜひ本学の卒業生が高校教員となって活躍できるよう頑張りたいと思います。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

サークル紹介

飛行ロボット研究会

部長 鈴木あゆむ (機械工学科3年)

飛行ロボット研究会は、昨年設立されたばかりの新しいサークルです。

毎年開催される飛行ロボットコンテストに出場するために、機体の製作、シミュレータでの操縦訓練等を行っています。

まだ設立されて日が浅く、経験者もいないので手探りしながらの活動が多いですが、なんとかコンテストに出場することができました。しかし、活動時間も少なく、とても満足のような結果は残せませんでした。

今年は新入部員も入り、時間的にも余裕ができたので納得のいく機体ができるのではないかと思います。

飛行機やラジコン操縦に興味がある方、ぜひ一緒に活動しませんか。



活躍する卒業生



アイシン機工株式会社
小澤 健さん
(物質科学科 第5期卒業生)

私の勤めている会社は自動車部品を作っており、私は焼入れが終わった材料の外観チェックを行っています。先日、いつも見ている材料とは明らかに違う材料を発見し、強度の測定をしたところ測定値が規格よりも外れていました。今回、得意先への不具合品の納入を未然に防いだことは、社内で評価され「社長品質特別賞」を、さらに納入先からは「感謝状」をいただきました。材料の異常に気付くことが出来たのは、大学在学中に卒業に必要な単位だけでなく、興味のある授業は学科を越えて受講し、物事の見方やものの違った見方の練習を行った結果だと思っています。

また、学生時代は親友を作る絶好のチャンスです。私にも学生時代に知り合って今も関係が続いている友人がいます。皆さんには多くの時間があります。授業以外にもアルバイトやサークル活動に一生懸命取り組んでください。その時すぐに役立たなくても、大人になって振り返ったときに、貴重な体験をしたと思う時がきます。学生時代は失敗してもやり直しがきくので、何事にも失敗を恐れずに「やрмаいか精神」でチャレンジして下さい。

同窓会発足15周年記念総会の開催

2月28日(日)に「同窓会発足15周年を祝う会 - 静岡理科大学同窓会総会 - 」を本学にて開催し、同窓会員やそのご家族など80名の方に参加いただきました。

記念講演では、笑福亭松枝氏が「“ 勿体ない ” で考える地球と社会環境」と題して講演を行いました。また、その後の懇親会や学内自由見学では、旧友や恩師との再会楽しむと共に、かつての学び舎を懐かしむ姿が見られました。



総会で挨拶する宮川同窓会長

平成22年4月1日付採用

人事異動



理工学部
機械工学科
講師
吉田 昌史

専門分野 材料工学、材料加工学

略 歴 広島国際学院大学工学部卒、広島国際学院大学大学院工学研究科博士課程修了。新東プレーター(株)、広島国際学院大学工学部講師を経て、本学講師に就任。

趣 味 旅行、ドライブ



理工学部
電気電子工学科
客員講師
山本 健司

専門分野 電子回路、パワーエレクトロニクス、モーター制御

略 歴 芝浦工業大学工学部卒、上智大学大学院理工学研究科修士課程修了。日本ヒューレット・パカード(株)、職業能力開発総合大学校研究生を経て、本学客員講師に就任。

趣 味 ネットワーク技術の調査、プログラミング(JAVA、アンドロイド等)、レンタルカート



総合情報学部
人間情報デザイン学科 教授
工藤 司

専門分野 経営情報システムの構築、ソフトウェアエンジニアリング、Web型基幹系システムにおける運用改善の研究

略 歴 北海道大学理学部卒、北海道大学大学院工学研究科修士課程修了、静岡大学大学院理工学研究科博士課程修了。三菱電機(株)、三菱電機インフォメーションシステムズ(株)を経て、本学教授に就任。

趣 味 ハイキング

お疲れ様でした(平成22年3月31日付退職)

量子物理研究室 教授 佐々木 祥介

人間情報デザイン学科 講師 小杉 大輔

特集 電気自動車プロジェクト

時代はエンジン車から電気自動車へシフトしつつあります。本学では、4年前に電気電子工学科の各先生の得意分野を電気自動車に結集し、電気自動車プロジェクトを立ち上げました。昨今の電気自動車ブームの前から、電気自動車の研究をしていたこととなります。この4年間で電気自動車高効率モータ制御技術、HIDランプの評価、発生雑音の評価と回避技術、車体形状にあった太陽電池の検討、CAN通信の評価など多くの研究成果を生みました。また、「ものづくりフェスタin袋井」などの地域の催しにも積極的に参加してきました。

電気自動車プロジェクトは、これからPhase として、浜松市が主催する社会実験（はままつ次世代環境車社会実験協議会）に参画するとともに、遠州地域におけるシンクタンクになるよう活動して行く予定です。



平成22年度 学年暦(学部・大学院)

前期定期試験	8月3日(火)~8月10日(火)	冬期休業	12月25日(土)~1月4日(火)
夏期休業	8月11日(水)~9月23日(木)	後期試験	1月31日(月)~2月10日(木)
前期追・再試験対象者発表	8月25日(水)	後期追・再試験対象者発表	2月17日(木)
前期追・再試験期間	8月30日(月)~9月3日(金)	後期追・再試験期間	2月22日(火)~2月28日(月)
後期ガイダンス	9月24日(金)	春期休業	3月1日(火)~3月31日(木)
後期授業開始	9月27日(月)	卒業式・修了式	3月19日(土)
大学祭	10月23日(土)・24日(日)		

平成22年度 後期公開講座

後期1回 いま求められる英語授業とは

日時 9月25日(土)13:30~16:30

講演1 「大学入試の英語問題はどうか変化しているか」
講師 人間情報デザイン学科 講師 巨理 陽一

講演2 「我が子を、英語が使える大人に育てる、賢い親の選択」
講師 静岡大学 教育学部 教授 三浦 孝

後期2回 暮らしを支える先端分析技術とは

日時 10月16日(土)13:30~16:30

講演1 「食品偽装解明のための分析技術」
講師 物質生命科学科 教授 常吉 俊宏

講演2 「『分析する』とは、どういうこと？」
講師 物質生命科学科 教授 小林久理眞

2011年度 入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合否通知日
一般推薦	平成22年 10/18(月)~ 11/2(火)	11/13(土)	11/19 (金)
一般前期(A) [3教科型]	平成23年 1/5(水)~ 1/25(火)	2/1(火)	2/10 (木)
一般前期(B) [2教科型]		2/2(水) 2/3(木) 《試験日自由選択》	
前期センター試験 利用入試(A) [3教科型]	平成23年 1/5(水)~ 1/28(金)	本学独自の 個別試験 なし	
前期センター試験 利用入試(B) [2教科型:総合情報学部のみ]			
一般後期 [2教科型]	平成23年 2/14(月)~ 3/3(木)	3/10(木)	
後期センター試験 利用入試(A) [3教科型]	平成23年 2/14(月)~ 3/7(月)	本学独自の 個別試験 なし	3/18 (金)
後期センター試験 利用入試(B) [2教科型:総合情報学部のみ]			

スポットライト

がんばれ!理工科大生



私は地元袋井で太鼓(祭囃子)の同好会のメンバーとして活動しています。昨年度、卒業式後、学食で行われた立食パーティでも演奏させていただきました。

私が太鼓を始めたのは小学校3年生の時なので、早いもので13年経ちました。高校の部活でも祭囃子をやっていました。

主な活動は、毎月第2、第4土日、夜17:00~21:00に練習を行い、老人ホームへの訪問、結婚式や宴会などの祝いの場、夏祭りなどで演奏をしています。また、私の地元袋井では10月の第2金、土、日に祭りがあり、9月1日から小学校4年5年6年を対象とした祭囃子の練習が始まり、私は毎年ボランティアで太鼓の指導をしています。毎年30名以上の生徒を持ち、太鼓だけではなく、挨拶や備品の整理整頓、集団で学ぶ時のマナーなども教えていますが、なかなか言うことを聞いてくれず苦悩します。私の地元の人は一生のうち、太鼓に触れるのはおそらく100時間程度ですが、私は今まで2000時間以上の練習を行ってきました。それは胸を張って誇れ、人に教えることができるのだと思います。

私はこの先何年、何十年と太鼓を学び、練習して覚え、下の世代に伝えていきたいと思っています。

橋本 渉 (機械工学科3年)

優秀賞表彰式

1年間の学業成績が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理科大学優秀賞」の表彰式が5月19日(水)に行われました。受賞者30名に学長より表彰状と副賞が授与されました。

受賞者は次の通りです。



機械工学科

2年生 野末 浩隆
大橋 慧治郎
3年生 野末 将之
久野 敬太
4年生 榊原 悠祐
春日 達弥

電気電子工学科

2年生 勝間田 恭彦
池谷 泰輝
3年生 石井 佳祐
門奈 淳至

電気電子情報工学科

4年生 岡部 恵太
山口 創太

物質生命科学科

2年生 井口 有加
増田 啓輔
3年生 岩井 利明
杉本 拓也
4年生 大砂 裕司
塚本 美徳

情報システム学科

4年生 村下 直也
皆川 奈々
岡本 真太郎
山口 晴香

総合情報学部

2年生 山本 哲平
吉田 尚子
原田 建吾
土屋 孝則
3年生 南条 誠宜
佐藤 香澄
山本 晃丈
内藤 建太

後援会

だより

父母懇談会の開催

日時：平成22年10月23日(土)
10:30~ <大学祭1日目>
会場：本学300講義室
(学生ホール3階)

父母懇談会は、午前全体会と学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催します。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

同窓会

だより

ホームカミングデーの開催

今年も、本学にてホームカミングデーを開催します。今回で10回目の節目を迎える本会では、趣向を凝らしたイベントや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。同窓会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成22年10月24日(日)
11:00~12:30 <大学祭2日目>
会場：本学食堂(体育厚生棟1階)

参加料：無料

編集後記

学科の紹介が一巡しました。自分の学科の進化は分かっている、他学科は??の状態が、少しでも改善されたなら幸いです。学生の活動や学内のいろいろな紹介記事は、今回も盛りだくさん。この号がお手元に届く頃、在学学生は前期試験の真最中。努力は必ず報われる。地域と共に輝く未来に、お理工ちゃん、やらいか!(K)



静岡理科大学キャンパスニュース
平成22年7月21日発行
企画・編集・発行 / 静岡理科大学 大学広報委員会
〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2
TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110
<http://www.sist.ac.jp>